神内小だより

紀宝町立神内小学校
令和４年１０月３日発行

「すべての子どもが互いに認め合い、安心して夢中に学び合える学校」

★『命を守る行動』を考えよう！体験しよう！★

９月１日は防災の日です。災害はいつ起きるかわかりません。９月は様々な災害に対し、自分の命を守るためにはどんな行動をすればよいか、体験や学習、施設の見学を通して考えました。

＊１・２年生は地震が起こった時の命を守る行動を、紙芝居で学習しました。

＊３・４年生は、命を守るための地震に強い建物の構造を学び、ストローハウスを組み立て、体験しました。

＊５・６年生は、「地震が起こった時に正しく判断できる人になるために」をめあてに『防災クロスロード』に挑戦しました。

＊起震車体験（全学年）。
震度７までの揺れを体験しましたが、地震が起きるのがわかっている状態でも、ダンゴムシの姿勢で堪えるのは大変そうでした。実際、突然の揺れを感じた時、机の下に待機したり、ダンゴムシの姿勢を維持したりする行動ができることが命を守ることに繋がりますね。

＜９月１日が防災の日なのはどうして？＞

１９２３年９月１日関東大震災が起こり、大被害をもたらしました。また昔から、立春から数えて約２１０日目の９月１日前後で、台風が発生し稲作などの作物が被害を受けやすいといわれてきました。そして、１９５９年９月２６日には戦後最大の被害といわれた「伊勢湾台風」があり、地震や風水害に対応できる備えや体制作りなどの必要性をねらい、翌年の１９６０年「防災の日」が創設されました。

『正常性バイアス』が働いてしまうこわさを反省

先日、１０/１（土）８：４５にも【和歌山県南部】を震源とする地震があり揺れを感じました。【神内は震度２】でした。「今の地震かな？」「これくらいなら大丈夫かな？」と思ってしまう自分がいました。
迷うなら命を守る行動ですね。そして、避難訓練や体験学習を通して**子どもも大人も**『どう行動するべきか、判断する力』をつけ、実践できるようにしていきたいです。

＜正常性バイアスとは＞
「自分は大丈夫」と思い込む、脳の危険なメカニズム。

【９/１３避難訓練（火災想定）】　地震の時との避難の違いを考えて訓練しました。

訓練後、火事の時の『命を守る行動』について、煙の特性を紹介しながら、次の３点について話をしました。

①口と鼻を覆って、低い姿勢で避難する。
②「お・は・し・も」を守る。
③自分で考えて判断し、行動できるようふだんの生活から心がける。

振り返りより

□いのちをまもりたかったので　くちをおさえられた。
□いそいでそとにでた。ひとりのときはしんぱいです。
□はしるのをきをつけました。しゃべりたかったけどがまんしました。
□けむりの中に、有毒が入っているのを、初めて知りました。これから気をつけようと思いました。
□最初警報が鳴った時、びっくりしてちょっとあせってしまいました。
□もし本当に火事が起こったら今日やったことを全部やろうと思った。
□悪い空気ときれいな空気。低い所で呼吸することに気をつけたい。
□訓練でも思った以上にパニックになってまわりが見えなくなるから、もっと冷静になるように気をつけようと思いました。

＊９/９：４年生の紀宝町防災拠点の施設見学

では、紀伊半島大水害の様子や水害・地震に備えた町の取組や命を守るためにすべきこと（ふだんの備えと災害時の行動）について学習しました。

◆各家庭でも災害や事故・事件から『命を守る行動』について折に触れ話題にしていただき、子どもも大人もいざというときに判断して行動できる力をつけていきましょう！

10月の予定

＊10/ 3（月）：食育指導（1・2 年生）
＊10/ 6（木）：お話会
＊10/ 7（金）：スクールカウンセラー来校（AM）
＊10/11（火）：街頭指導・子ども会集会
＊10/13（木）14（金）：自然の家宿泊研修（5年生）
＊10/20（木）21（金）：修学旅行（6年生）
＊10/21（金）：街頭指導・スクールカウンセラー来校（AM）
＊10/24（月）：秋の遠足（1～4年生）
＊10/25（火）：集金袋配付（予定）・第1回後期子ども会選挙管理委員会
＊10/27（木）：秋の遠足予備日・後期子ども会選挙告示
＊10/31（月）：社会見学（紀宝きのこ生産組合：3年生 2・3 限目）
＊10/31（月）11/1（火）2（水）4（金）：個別懇談会（14：30～16：30）

【9 月 7 日（水）通学路合同点検を実施しました！】

県道 141 号線関係では県熊野建設事務所、町道関係では紀宝町役場の方々、そして今回は神内見守りサポーター兼神内小学校運営協議会会長の登立さんにも同行していただき、通学路の危険箇所についての合同点検を実施しました。

保護者や見守りサポーターの方々、そして教職員から事前に危険箇所として改善を要請していた以下の 8 か所について、現状を確認し要望を伝えました。登立さんからは毎朝の見守りサポーターの活動の様子や子ども達の様子を交え、危険箇所の現状を伝えていただきました。今後、整備・改善に向けて、各関係団体で検討をしていただきます。

この合同点検の後、登立さんと地域の方が、通行時見通しが良くなるように除草や枝の伐採をしてくださいました。ありがとうございました。

子ども達の安全に向けての整備・改善・見守り…、様々な方々にお世話になっています。子ども達自身が交通安全や防犯に気をつけ安全に登校できるよう学校でも引き続き学習していきます。各ご家庭でも子ども達の登下校の様子について話題にしていただき、自分自身の命を守る行動や見守り等を含めた地域の方々への感謝の気持ちをともに考えていただけたらと思います。

① 県道 141 号線紀宝分署から小学校へ向かう坂道（歩道なし）
② 県道 141 号線とショートステイセンター「つどい」横農道との合流地点（横断）
③ 神内会館前の横断歩道とその付近の山の横の道路（歩道なし）
④ 神内会館前交差点付近の歩道（雨天時の浸水）
⑤ 神内会館から飯盛保育所方面の山側斜面（以前の土砂崩れ跡）
⑥ 子安橋から神内神社の川沿い道路（川への転落）
⑦ 紀宝バイパス上高架道路の交差点（横断）
⑧ 小学校北門から上野方面坂道（雨天時大きな水たまり）

⇔

①

②